

没後40年 岡戸武平展

不木・乱歩・私

岡戸武平は、明治30年、愛知県知多郡高橋須賀村（現・東海市）に生まれました。

小学校教員や新聞記者として勤めますが、結核のため静養。その後は、名古屋に住む探偵小説家・小酒井不木の文筆助手となり、師と仰ぐようになります。昭和4年の不木没後は上京、同じく探偵小説家の江戸川乱歩らと『小酒井不木全集』を編纂しました。また、この頃、博文館の文芸雑誌「文芸倶楽部」の編集長も務めています。退社後は本格的に作家となり、第1回直木賞の候補にも選出されました。

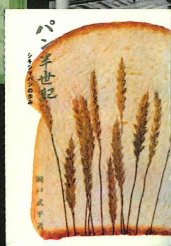
名古屋へ戻った後は松坂屋や敷島製パン、岡谷鋼機など、名古屋経済界の杜史や文化人・経済人の伝記を多く手掛けました。

今展では、探偵小説家・時代小説家・企業史家・俳人・画家……と多くの面を持つ岡戸武平について、乱歩から代表作と評された伝記小説『小泉八雲』やその他作品、直筆画や原稿など貴重な資料を展示します。

岡戸武平 書斎にて



「不木・乱歩・私」
(名古屋豆本)



「パン半世紀 シキシマパンの歩み」
(中部経済新聞社)



「小泉八雲」
(大日本雄弁会講談社)



「闘病術」(春陽堂)
小酒井不木・著

トークイベント 6/7日 13:30~15:00

講演

「わが畏友その名は江戸川乱歩
— 知られざる岡戸武平の生涯 —」

◆ 講演：寺田繁

(月刊文芸同人雑誌「北斗」事務局長)

◆ 会場：文化のみち二葉館 1階大広間

※入場無料 但し要入館料(一般200円)

※当日先着順自由席(30席程度)

※変更の場合があります

◆ 出演者プロフィール

【寺田繁(てらだしげる)】

月刊文芸同人雑誌「北斗」事務局長、中部ペンクラブ事業委員長、元・名古屋タイムズ記者。著書に「名古屋の栄さまと「得月楼」父の遺稿から」(鳥影社)、『小説岡戸武平 乱歩わが友』(風媒社)など。



左・岡戸武平、右・江戸川乱歩 (個人所蔵)

主催・お問い合わせ

文化のみち二葉館

名古屋市東区榑木町3丁目23番地
TEL / FAX 052-936-3836

【名古屋市旧川上貞奴邸】 <https://www.futabakan.jp>

「ドニチエコきっぷ」「一日乗車券」

を利してご来館の方は入館料割引!

一般200円→160円

名古屋観光ルートバス
メーガール



交通のご案内

- なごや観光ルートバスメーガール「文化のみち二葉館」下車
- 市バス「飯田町」下車、北に徒歩2分
- 基幹バス2号「白壁」下車、南に徒歩5分
- 地下鉄桜通線「高岳」下車、2番出口より北に徒歩10分
- 名鉄瀬戸線「尼ヶ坂」下車、南に徒歩12分

※駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。



公式サイト



Instagram

